



# 「アートパラ深川おしゃべりな芸術祭」の取組み 地域の力を集めた市民芸術祭



第207回aacaフォーラム  
「街とアートが織りなす出会いの場」その6



# 第207回aacaフォーラムのご案内

## 「街とアートが織りなす出会いの場」その6

### 「アートパラ深川 おしゃべりな芸術祭」の取組み 地域力を集めた市民芸術祭

一般社団法人 日本建築美術工芸協会  
会長 東條隆郎  
フォーラム委員長 萩尾昌則

拝啓 皆様益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当協会の活動にご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
第207回aacaフォーラムは、第205回・206回に引き続き街に繰り出します！

「アートパラ深川 おしゃべりな芸術祭」はアートを街に解放する「地域力を集めた市民芸術祭」。江東区の門前仲町、清澄白河、森下、豊洲にアートが溢れ、深川の街なか全体が美術館になります。「共に生きる」テーマのもと、何らかの障がいを持つ方々から生み出された作品群が私たちの心を掴みます。アートの力は人々を引き寄せ、人々に「対話」を生みだします。曇りなき眼で「美しい」を感じとり、正当な価値と魅力が知られることは、障がいのある方々の個性や才能を活かすことができる社会へとつながります。誰もがそれぞれを認め合い、そして支え合う「共に生きる」社会を「アートパラ深川」は目指しています。

「神輿魂」で地域一体となって開催される本アート展は、偶然の出会いをそこかしこにつくり出します。神社仏閣巡りとアート鑑賞が合体した御利益のある街歩き、様々なスタイルのアート展示や誰でも参加できるイベントも盛り沢山。この深川という舞台で、このイベントの提唱者である一般社団法人アートパラ深川理事で東京工芸大学デザイン学科名誉教授の福島 治さんに「アートパラ深川」の活動を小一時間ご紹介いただき、レクチャー後は場所を移動し 門前仲町を散策しながら今年度の芸術祭の様子をフィールドワークで体感していただきます。 敬具

#### 記

「講師」 福島 治 アートパラ深川"おしゃべりな芸術祭" 発起人&総合プロデューサー

「会場」 江東区古石場文化センター2F 第1・2研修室（東京都江東区古石場2-13-2）

「日時」 2024年10月20日（日）受付開始9:30 講演・視察10:00～12:00

「定員」 40名（定員になり次第締め切ります。）（ネット配信は行いません。）

「会費」 aaca会員2,000円 一般2,500円

※当日会費の受付は行いませんので下記銀行口座にお振込みください。

三井住友銀行 三田通支店 普通8089627

一般社団法人 日本建築美術工芸協会 シンポジウム

※キャンセルの場合、参加費の返金ができませんのでご了承ください。

「申込」 参加ご希望の方は下記URLから10月11日（金）までに申込手続きを行ってください。

右記QRコード読取でも申込用Webページにアクセスできます。

<https://ws.formzu.net/dist/S454329092/>

「問合せ」 フォーラム委員会 koho@aacajp.com



#### 福島 治（ふくしま・おさむ）

アートパラ深川"おしゃべりな芸術祭" 発起人&総合プロデューサー・東京工芸大学名誉教授

1958年広島市生まれ。浅葉克己デザイン室、ADKを経て1999年（有）福島デザイン設立。20～40代はアートディレクターとして国内外で高い評価を得て、数々の国際的な賞を受賞。2009年から商業的なデザインにピリオドを打ち、ソーシャルデザイナーとして“デザインにおける社会貢献の可能性”を探索。一般社団法人サーキュラー コットン ファクトリー創設メンバーとして、繊維のゴミを紙にして循環型社会を目指す。2019年、一般社団法人アートパラ深川を設立。2020年、コロナ禍の中で障がいのあるアーティストの作品を中心とした市民芸術祭“アートパラ深川おしゃべりな芸術祭”を柿沢未途代議士と2人で立ち上げる。江東区の地域住民の協力を得て、門前仲町、清澄白河、森下エリアの屋外に400点以上の街なかアートを展示、屋内には全国公募の入選、入賞作品も展示。その他、さまざまなイベントや企画展示も行う。資金ゼロから立ち上げた市民芸術祭は、開催エリアを豊洲にまで拡大。障がいのあるアーティストの支援と地域活性化を同時に実現する新しい仕組みの芸術祭として、社会に高く評価されている。

